

株式会社タムラの取組み

「エコドライブを中心とした環境保全へ向けた活動取組み」

- 株式会社タムラでは、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、エコドライブや低公害車の導入、点検整備強化、廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進などを実施
- 環境面における認証を継続して取得（グリーン経営認証や昨々年のふくしまゼロカーボン宣言事業で分野賞、昨年は運輸部門にて奨励賞）
- 取組により、年間 85,098 kg-CO₂ を削減（運転燃費面：43,524 kg-CO₂、太陽光発電面：41,574 kg-CO₂）

《エコドライブの実践》



毎年、交通エコロジーモビリティ財団主催のエコドライブ活動コンクールに参加している。

グリーン経営認証は、永年継続により、永年表彰を受けている。

エコドライブ推進 17 か条を定め、会社全体で徹底に努めている。

燃費計算を一人ひとりが自ら行うことで、経費意識と環境貢献意識を高めている。

毎年、前年度比 1%以上の改善を掲げ、地道にコツコツと効果を上げている。

《パーキングクーラー/ヒーターの導入》



エコドライブで注力しているのが、やはりアイドリングストップ。エンジン停止時（アイドリングストップ時）に使用可能で、夏場や冬場でも快適な車内空間を実現出来る。CO₂ 排出を抑えられ、環境に優しく、且つドライバーにも優しい設備を導入している。

《車両洗浄機器の導入》



環境に配慮するため、重要になるのは「燃費向上」だと考える。

長年車両使用していると、燃料系統や吸気系統が汚れ、燃焼効率が低下する。そこで、自社内でクリーニングが容易に出来る専用機器を導入。

自社内で洗浄出来るため、業者に依頼するより頻繁にクリーニング出来て、エンジンの燃焼効率が向上。

車両の性能維持と、それによる燃費向上など、運用コストの削減にも繋げている。

《事業所での環境保全への推進》



エコマーク製品の購入、廃棄物分別の徹底、不要照明の消灯、社内電灯 LED 化。

使用エネルギー及び廃棄物の発生量の統計を継続把握しています。

今年度は市指定ゴミ袋にて、可燃 230 袋、プラ 10 袋、不燃 3 袋と前年度比 5 %の削減目標を掲げています。

また、電気使用量と太陽光発電量を毎月把握し、天候で左右されますが、太陽の恵みにより CO2 削減に繋げています。

毎年 6 ～ 7 月にクリーンアップ作戦と題し、社内近隣の清掃活動を継続しています。

